

1. 評価結果概要表

作成日平成 20年 3月5日

【評価実施概要】

事業所番号	2971000431
法人名	ホームケア株式会社
事業所名	ホームケア香芝
所在地	奈良県香芝市五位堂6丁目200 - 1 (電話) 0745 - 70 - 5065

評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	奈良県橿原市大久保町302 - 1
訪問調査日	平成20年3月4日

【情報提供票より】(20年2月14日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 3 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤	11 人, 非常勤 6 人, 常勤換算 15, 8人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋 造り		
	2 階建ての,	1 階 ~	2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,700 円	その他の経費(月額)	38,850 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(150,000 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	100 円	昼食	300 円
	夕食	370 円	おやつ	円
	または1日当たり		770 円	

(4) 利用者の概要(2月14日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	2 名	要介護2	10 名		
要介護3	5 名	要介護4	1 名		
要介護5	名		要支援2	名	
年齢	平均 82 歳	最低	63 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	たかさき歯科医院 和田クリニック 東朋香芝病院
---------	-------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

法人代表者が、認知症介護においてグループホームの必要性を認識し、研究・研修を重ねグループホームをノーマライゼーションの実践の場であると考えられ開設されたホームです。建物はバリアフリーを配慮された安全で明るい居心地の良い居住環境が工夫されており、清掃も行き届き清潔感があります。職員はユニホームではなく私服でエプロンを着け家庭的な雰囲気、利用者への対応もおしつけではなく本人本位の気持ちを尊重した自由な対応がなされています。また、ケアの中に人生の先輩としての認識があり、ケアを提供する立場だけではなく人生の先輩から学び共に生活するという姿勢が感じられます。家族が一番不安に感じている終末期の介護についても、家族や本人の思いを聴き取り、医療機関とも相談を行い方向性を確立し、終末に対する対応指針を定め、全員で共有し、職員もケアを統一して受け入れられています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の外部評価においての改善課題としては地域に密着した関わりが不十分とされていましたが、警察署や消防署との関わりは連携が図られるよう改善されている一方、地域への取り組みがなお不十分です。地域密着型サービスとして利用者の自由な暮らしを支えるためには、家族や地域の人々の理解と協力が不可欠ですから、積極的な取り組みが望まれます。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価作成を計画作成担当者が一人で行う等職員全体での検証や評価を活かした具体的な改善の取組みが見られませんが、評価を円滑にかつ実のあるものにするためには、運営者、管理者から評価に積極的に取り組みサービスの質の確保に活かす姿勢が求められますので、評価の意義を全職員で再確認され具体的にサービス改善に向けた取り組みが望まれます。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議はこれまで、1回開催されており、メンバーは家族、地主、農協関係者、職員等の参加の下、ホームの状況や取り組み状況についての報告があり、メンバーから、多くの意見や感想が述べられ、改善に向けて検討されています。行政担当者、地域住民の代表者の参加がありますが、地域密着型サービスの実現にはこうした関係者の参加が不可欠ですから、積極的に参加できるよう働きかけると共に、開催回数、評価結果と改善の取り組み状況の報告等運営基準に則った運営推進会議の実施が望まれます。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>毎月の便りや金銭の出納、利用者の生活状況等を報告し、面会時にも利用者の身体の状態や暮らしの様子を報告されています。家族の訪問時に、職員から積極的に話しかけ要望・相談に応じる他、運営推進会議や公的な苦情窓口等の部外者に意見を言える場があることを説明されています。また、意見を運営に活かしたいと考えられています。職員の異動等については報告されていますが、職員は利用者のケアに直接関わることから、家族の関心が高く、不安を払拭し信頼関係を築く上にも職員の異動等の情報は速やかに報告することが望まれます。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>散歩時に挨拶をしたり、将棋の相手をするため近所の方が来られる他、子供達がクリスマスに訪ねて来る等交流されています。また、自治会に加入し町内の掃除等の活動にも参加されています。なお、関わりが希薄であることを認識され、地域との交流を更に深めるため、老人会に参加することを検討されていますので、速やかに実現されることを期待します。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	その人らしくある「黒子のケア」とした法人の理念をホームの理念とされ、地域密着型サービスに移行後の意義や目的を踏まえた理念がつけられていないと思います。		地域密着型サービスでは利用者が地域の中でその人らしく継続して生活できるよう支援することを目的としますから、更に地域との関係を重要視した独自の理念をつくるのが望まれます。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日のカンファレンスにおいて理念が確認されていないように思います。また、理念の共有に資するため、理念を玄関に掲げられていますが、小さい字でびっしり書かれ、居住空間の中に目につくにくい場所に掲げられています。		理念は実践に活かされてこそ意味がありますので、居間にわかりやすい表現で理念を掲げ、毎日のカンファレンスで確認されることが望まれます。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	散歩時に挨拶をしたり、将棋の相手をするため近所の方が来られる他、子供達がクリスマスに訪ねて来る等交流されています。また、自治会に加入し町内の掃除等の活動にも参加されています。		関わりが希薄であることを認識され、地域との交流を更に深めるため、老人会に参加することを検討されていますので、速やかに実現されることを期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者は、サービス評価の目的について認識されていますが、今回の自己評価の作成を計画作成担当者が一人で行ったり、前回の外部評価や自己評価の結果が職員全体での検証や評価を活かした具体的な改善への取組みが見られないと思います。		評価を円滑に、かつ実りのあるものにするためには、運営者、管理者から、評価に積極的に取り組み、サービスの質の確保に活かす姿勢が求められますので、評価の意義を全職員で再確認され、その結果から気づきを得て、具体的にサービス改善に向けて取り組まれることが望まれます。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議はこれまで1回開催されており、メンバーは家族、地主、農協関係者、職員等の参加の下、ホームの状況や取り組み状況についての報告があり、メンバーから、多くの意見や感想が述べられ、改善に向けて検討されています。		行政担当者、地域住民の代表者の参加者がありませんが、地域密着型サービスの実現にはこうした関係者の参加が不可欠ですから、積極的に参加できるよう働きかけると共に、開催回数、評価結果と改善の取り組み状況の報告等運営基準に則った運営推進会議の実施が望まれます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政担当者から直接指導を受けられる等連携されています。		市町村は、市民福祉を推進する立場として、ホーム運営の推進において大変重要な存在です。市担当者へ積極的な情報提供と共有を図り、ホームが抱える地域住民の理解と協力が得られるよう働きかける等の課題解決に向けて協働していく取り組みが望まれます。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月の便りで金銭の出納、利用者の生活状況等を報告し、面会時にも利用者の身体の状態や暮らしの様子を報告されています。		職員の異動等について報告されていませんが、職員は利用者のケアに直接関わることから、家族の関心が高く、不安を払拭し信頼関係を築く上にも職員の異動等の情報は速やかに報告することが望まれます。
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時に、職員から積極的に話しかけ要望・相談に応じる他、運営推進会議や公的な苦情窓口等の部外者に意見を言える場があることを説明されています。また、意見を運営に活かしたいと考えられています。		家族との協働でケアの質の向上の取り組みとして、更に意見を出しやすくするため、家族会を作るよう検討されてはいかがですか。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動等は利用者、家族への不安が大きいことを認識し、人材育成に努めるとされていますが、職員の異動の頻度が多いように思います。		サービスの質の確保の一つは、利用者との馴染みの関係作りにあります。利用者や家族との信頼関係を築くためにも、職員の異動を最小限に抑え、利用者へのダメージを最小限にするような配慮が望まれます。
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホーム内で研修を行い職員の質の向上に努められていますが、研修の機会が少ないように思われます。		内外の研修を受ける機会を確保したいと考えられていますので、運営者は、職員の重要性を認識し、多忙な中でも研修の機会を確保され、第一線で働く職員の更なる資質の向上のために段階的、計画的な研修計画をたてられることを期待します。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域ネットワーク、全国組織への参入等の取り組みは見られますが、地域の同業者との交流がされていないように思われます。		近隣の施設との交流を検討していきたいと考えられていますので、地域の同業者との交流は職員の質及びホームの質の確保のために大切なことです。早期の実現を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者に合わせ、見学や利用者との交流の機会をつくり、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫されています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者を人生の先輩として学ぶことを多く持つ場面作りや声掛けをされています。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりの思いや意向を毎日のケアの中で把握し、困難な場合は家族から情報を得よう努め、本人本位に検討されています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族、医師、職員等の意見を取り入れ介護計画を作成されています。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間に応じた見直しがされており、状態変化等必要に応じ現状に即して見直しされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院時など家族の事情を考慮して、職員が同行する等柔軟な支援がなされています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族と相談し、かかりつけ医を最優先にしながら往診医による診察の機会もつくり、適切な医療を受けられるよう支援されています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族や本人の思いを聴き取り、医療機関とも相談を行い方向性を確立し、終末に対する対応指針を定め、全員で共有し、職員もケアを統一して受け入れられています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	本人のプライバシーを配慮して、声かけや誘導がなされています。また、個人情報の取り扱いに関しては、継続的に研修を実施する等して徹底が図られています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な生活の流れは設定されていますが、本人の状態や希望に沿って柔軟に支援されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	栄養士がたてた献立による食材がレトルトパックで用意されており、それを温めて盛り付ける方法が取られているため共に献立を考えたり調理する機会は少ないように思われます。なお、職員は弁当を持参されています。		買い物、調理、食事、後片付け等を、利用者個々の力を活かしながら、職員と一緒に行うことが大切です。それは、張り合いや自信、楽しみや喜びとなり、心身の力の維持や向上につながります。旬のものを好みに応じて選べる機会をつくり、食事が楽しみなものになるよう、利用者と職員と一緒に準備し同じものを食べることが望まれます。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	1週間の入浴回数は3日に1回、15時から17時と基本的に設定されていますが、希望者がいないという理由で、それ以外の時間や回数の希望には対応されていないと思います。		利用者一人ひとりの生活習慣やその日の心身の状態や希望に応じ、入浴が楽しめるよう弾力的な支援をされることが望まれます。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	将棋をうつ、ピアノを弾く、食器の後片付け等楽しみ事や役割の場面を作り、経験や力を発揮し、楽しみごとが出来よう支援されています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近所の神社や近隣への散歩をされていますが、少ないように思われます。		外出することにより外部の刺激を受けることの重要性を再認識され、買物等本人本位で、生活の継続としての外出を支援されることが望まれます。
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中玄関は施錠されていませんが、利用者の安全確保への配慮から、門扉が施錠されています。		鍵をかけることによって、利用者にもたらす心理的な不安・閉塞感等の弊害を認識され、常に利用者の気持ちを尊重し、外に出たい場合は一緒についていく等、安全面に配慮し、利用者の自由な暮らしを支えるよう寄り添った見守りの支援が望まれます。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署による訓練は実施されていませんが、4月に予定されています。なお、災害時の食料等の備蓄は見られないと思います。		災害時にホームだけの対応の限界を認識し、地域の協力が得られるよう働きかけていくとされていますので、地域の協力体制の確保に併せ、日頃の訓練、食料等の備蓄等を整備されることが望まれます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	見守り表(フローシート)に食事、水分摂取量、排せつ回数が記入されその日の状態や習慣が把握され支援に活かされています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間は清潔で適切な採光があり、食卓には季節の花が飾られて温かい落ち着いた雰囲気にとたれよう工夫されています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	カーテン、ベット、エアコンは施設のものが用意されており、本人が使い慣れた調度品が置かれ安心して過ごせるよう部屋を工夫されています。		